

湯梨浜町レークサイド区自治会

～誰もが暮らしやすいまちへの新しいルールづくり～

湯梨浜町の東郷湖西岸に、令和2年に誕生した新しい町、レークサイド区は、令和6年4月1日から行政区として認定されています。

令和8年度の区長、丸谷由香（まるたにゆか）さんに、自治会運営への思いや工夫、抱負などを伺いました。

レークサイド区の概要

- 湯梨浜町レークサイド区 加入世帯：約64世帯 加入率：98.4%
- 役員 区長、副区長、会計、部長（3名）計6名（男女3人ずつ）

自治会の空白期間・設立の経緯

分譲地に少しずつ住民が増え始めた最初の2年間は、有志で町報等配布やゴミステーションの掃除を担っていた。3年目に町営住宅が建ち、世帯数が増えたタイミングで、町や地域の開発事業を行う会社のサポートのもと、自治会立ち上げに向かうことになった。

役員選任・今後の体制

自治会立ち上げにあたり、自分を含めた当初からの有志の他、立候補や推薦による10名でスタートした。

役員選任に男性・女性は全く関係なく、意識したこともない。3年目となる今年度は6名の役員だが、次年度からは三役（3名）の役員で活動を行う予定としている。

区の活動内容

年1回の総会と公園の清掃活動など、共同生活する上での必要最小限の活動に限定している。そのためにレークサイド区として「すること」と「しないこと」は、総会で話し合ってから決めている。

清掃活動の参加者には「感謝」として飲み物や商品券のお礼をしたり、お子さんには、区内のコンビニで好きなものを買ってもらえるようにするなど工夫をしている。

自治会の課題と今後

老若男女を問わず住民同士が協力し活動できる共同するための会であれば、皆さん参加してく

ださる。現状をそれでいいと思わずに、考えることが大事だと思う。

来年度以降に向けては、役員の仕事を誰でも担えるよう、必要なサポートを受けられる仕組みづくりを考えている。